

授業科目

社会学II

担当教員名 鈴木 未来	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎		

授業の概要

社会福祉士国家試験の共通科目である「社会理論と社会システム」の出題基準（大項目2. 生活の理解 3. 人と社会の関係 4. 社会問題の理解）に含まれる中項目に沿って解答に必要とされる知識を養うとともに、解答のための応用力を過去に出題された問題を用いて身につける。

授業の目的

日本社会の諸特徴を、歴史のなかに位置づける
個人がかかえる諸問題を、社会的現実として理解する

学習目標

1. 資格試験の試験問題の解答の方法を調べる
2. 個人と社会との結びつきを説明する
3. 日本社会の諸問題の特徴を、社会学の諸理論を用いて表現する

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	現代社会と家族（1）	講義	鈴木 未来
2	現代社会と家族（2）	講義	鈴木 未来
3	生活のとりえ方（1）	講義	鈴木 未来
4	生活のとりえ方（2）	講義	鈴木 未来
5	社会的行為（1）	講義	鈴木 未来
6	社会的行為（2）	講義	鈴木 未来
7	社会的役割と社会的ジレンマ（1）	講義	鈴木 未来
8	社会的役割と社会的ジレンマ（2）	講義	鈴木 未来
9	社会関係（1）	講義	鈴木 未来
10	社会関係（2）	講義	鈴木 未来
11	社会的排除と社会的孤立（1）	講義	鈴木 未来
12	社会的排除と社会的孤立（2）	講義	鈴木 未来
13	社会問題のとりえ方（1）	講義	鈴木 未来
14	社会問題のとりえ方（2）	講義	鈴木 未来
15	まとめ	講義	鈴木 未来

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	社会理論と社会システム第2版（イントロダクションシリーズ9）	松下育夫、守弘仁志、鈴木未来 他	学文社	2013年	2,200円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験

履修上の留意点

出席確認は受講生が、学生証を教室設置のカードリーダーにかざすことによって行う

オフィスアワー・連絡先

第1回の講義時に確認のこと。mik-suzu@nuhw.ac.jp